

# 高知大学土佐さきがけプログラム生命・環境人材育成コース履修規則

平成 25 年 1 月 23 日  
規則 第 58 号

最終改正 平成 29 年 3 月 13 日規則第 82 号

(趣旨)

第 1 条 高知大学土佐さきがけプログラム生命・環境人材育成コース（以下「生命・環境人材育成コース」という。）に関する事項は、高知大学学則及び高知大学土佐さきがけプログラム規則に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目)

第 2 条 授業科目は、初年次科目、教養科目及び専門科目に区分する。

(卒業所要単位数)

第 3 条 卒業に必要な修得単位数は、次表のとおりとする。

科目区分	単位数
初年次科目	12
教養科目	28
専門科目	84
計	124

(履修方法)

第 4 条 各授業科目等の履修方法は、次のとおりとする。

(1) 初年次科目

「大学基礎論」2 単位、「大学英語入門」2 単位、「英会話」2 単位、「情報処理」2 単位、「学問基礎論」2 単位及び「課題探求実践セミナー」2 単位の合計 12 単位を修得しなければならない。

(2) 教養科目

教養科目で開設する授業科目の中から、次に定める科目を含めて 28 単位以上を修得しなければならない。そのうち 2 科目 4 単位以上は地域関連科目として定められている授業科目を履修しなければならない。ただし、スポーツ科学講義及びスポーツ科学実技を合わせて 4 単位を超えないものとする。

イ 人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野及びキャリア形成支援分野の5分野のうち3分野以上から18単位以上を修得しなければならない。

ロ 外国語分野の中から、4単位以上を修得しなければならない。

(3) 専門科目

別表に定めるところにより、84単位以上修得しなければならない。このうち選択科目については「生命科学の基礎に関する科目群」、「生命科学の応用に関する科目群」、「生命を支える環境と生態系に関する科目群」及び「人間と環境・社会に関する科目群」の4科目群すべてから修得しなければならない。なお、各学部で開設する専門科目から7単位を上限として専門科目（選択科目）の単位に含めることができる。ただし、教職に関する科目は、卒業に必要な単位に含めることはできない。

(4) 日本語科目及び日本事情に関する科目

外国人留学生及び外国において相当の期間、中等教育を受けた学生は、次のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を卒業所要の単位とすることができる。

イ 日本語科目

日本語科目を8単位まで初年次科目の英語及び教養科目の外国語の単位に代えることができる。

ロ 日本事情に関する科目

教養科目の外国語以外の科目として4単位まで卒業所要の単位とすることができる。

(資格取得)

第5条 資格取得のための教育課程については、別に定める。

(単位の計算方法)

第6条 科目に対する単位数は、次の基準によって計算する。

- (1) 講義及び演習は、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要があるときは、30時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (2) 初年次科目及び教養科目の外国語は、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験・実習・実技は、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、45時間の授業をもって1単位とすることができる。

(追試験)

第7条 追試験は、病気その他正当な理由のある場合に限り、土佐さきがけプログラム運営委員会の議を経て許可することがある。

- 2 追試験の願出は事前に行い、やむを得ない場合は、当該試験終了後1週間以内に行わなければならない。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、生命・環境人材育成コースの履修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年3月25日規則第111号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年2月24日規則第82号)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成28年2月22日規則第74号)

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成29年3月13日規則第82号)

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表(第4条関係)

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
卒業論文	6		
卒業論文演習Ⅰ	1		
卒業論文演習Ⅱ	1		
生命と環境Ⅰ	2		
生命と環境Ⅱ	2		
英文読解・理解力養成セミナー	1		
実践英語セミナー	1		
生命・環境学集中実習	1		
研究室インターン実習Ⅰ	1		
研究室インターン実習Ⅱ	1		
研究室インターン実習Ⅲ	1		
研究室インターン実習Ⅳ	1		
産官学連携インターンシップ	1		
基礎有機化学	2		農林海洋科学部開設科目分
無機化学	2		
基礎分析化学	2		農林海洋科学部開設科目分
生物化学	2		
栄養化学	2		
微生物学	2		農林海洋科学部開設科目分
微生物生理学	2		
植物感染病学	2		
植物資源科学	2		
動物生産・繁殖学	2		
農産物利用学	2		
食品分析学	2		
応用微生物学	2		
微生物遺伝子工学	2		
土壌学	2		
土壌環境科学	2		
物理学概論	2		
化学概論	2		
生物学概論	2		
地球科学概論	2		
選択必修科目			
物理学基礎実験		1	
化学基礎実験		1	
基礎化学実験 <small>(農林海洋科学部開設科目分)</small>		2	この中から1単位以上選択必修
生物学基礎実験		1	
地学基礎実験		1	
〈生命科学の基礎に関する科目群〉			
農芸化学概論		2	
生物環境化学実験		2	
植物化学実験		2	
有機化学		2	
化学生態学		2	
代謝生化学		2	
生体高分子化学		2	
農林統計学		2	

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
分子生理学		2	
生物多様性学		2	
細胞生物学		2	
系統進化学		2	
動物分類学		2	
原生動物学		2	
脊椎動物学		2	
動物系統学		2	
水族生理生化学		2	
昆虫学		2	
植物栄養学		2	
植物学		2	
植物細菌学		2	
寄生虫学		1	
〈生命科学の応用に関する科目群〉			
動植物健康化学実験		2	
微生物化学実験		2	
機器分析学		2	農林海洋科学部開設科目分
生物有機化学		2	
植物医学概論		2	
動物生産学概論		2	
動物発生工学		2	
魚類栄養飼料学		2	
水産食品原料学		2	
水産物利用学		2	
食品化学		2	
食品保存学		2	
食料生産プロセス学		2	
食品生化学		2	
食品衛生学		2	
植物資源機能科学		2	
生理活性物質化学		2	
農薬化学		2	
細胞工学		2	
生命分子工学		2	
〈生命を支える環境と生態系に関する科目群〉			
地球ダイナミクス		2	
生物圏進化学		2	
生物環境システム学		2	
生物環境分析学		2	
水族環境学		2	
沿岸環境学		2	
生態学		2	農林海洋科学部開設科目分
水資源学		2	
植物生育環境学		2	
植物・環境計測学		2	
海洋基礎生態学		2	

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
土壌微生物生態学		2	農林海洋科学部開設科目分
動物生態学		2	
魚類学概論		2	
植物分類学		2	
植物微生物相互作用論		2	
保全生物学		2	
森林保護学		2	
生物多様性管理学		2	
〈人間と環境・社会に関する科目群〉			
農山漁村論理入門		2	
地域活性化論		2	
フードビジネス概論		2	
現代応用生物科学		2	
植物工場		2	
基礎社会医学-環境医学・疫学		1	
熱帯環境論		2	
森林マネジメント論		2	
農山村資源利用論		2	
国際農林水産市場論		2	
科学・技術の倫理		2	
倫理学概論Ⅱ		2	
風土と文化		2	
環境経済学		2	
Japanese Studies I: Language		2	
Japanese Studies II: Culture		2	
Japanese Studies III: Kochi Studies		2	
計	61	23	必修科目の計には選択必修科目として修得すべき1単位を含む。

- \*1 選択必修科目については、選択必修科目の内から1単位以上修得すること。
- \*2 選択科目の単位については、4科目群すべてから修得すること。
- \*3 選択科目単位数の23単位には、各学部で開設する専門科目から7単位を上限として含めることができる。